



アルトホルン

学校教育目標「夢に向かって 心豊かに たくましく生きる子ども」
～“自分で考え みんなと創る” 楽しい ふるさとの学校～

授業参観 パート3 高学年

5年生

横堀小学校で最も少ない人数の『おおぞら』学年の9名。高学年になって、頼られる場面がとても多くなり、なんか急に大きくなったように見えます。話す人を全員が見て聞いていて、授業中の姿勢も立派になって、みんな、発表もとっても積極的になっています。



上の写真は、道徳の時間。「自由」と「責任」について考えました。次々と考えが発表されて、関連付けられていきました。担任の佐々木夏美先生には、今年度「心のプロジェクト」という、本校の大黒柱の一つを担当してもらっていて、特別活動と道徳による心の育みをリードしてくれています。

昨日の国語の時間には、全員で校長室に来てくれました。校長室にあるおもちゃのすることについて、夏美先生が私にインタビューして、その内容を子どもたちがコンパクトにまとめるといふ勉強でした。だんだん長く詳しくなる話にも真剣に耳を傾けて、わずかの時間で1ページいっぱい書き込める人もいました。力が付いています。



教室の後には、学級目標や自分の名前を使った自己紹介がきれいに貼られています。そして、その下には、粘土で自分の好きなこと（部活動やスポ少活動等）を表現した作品が並べられています。どれを見ても、『個性的』なので、9人でもパワフルな『おおぞら』のよさが存分に生かされた4月のスタートダッシュは大成功です！

6年生

4月から最高学年となった『Heart年』。委員会やクラブを立ち上げ、登校班やたてわり班のリーダーとして下の学年の面倒を見ながら、さらに、やさしくたくましくなって、急成長中の6年生です。「藤井さん」になって、持ち上がりとなり、ますますやる気満々な“歩くバイタリティー” 淳美先生と子どもたちの1年が楽しみです。

先週の金曜日には、最後の満開となる「くじら山」で『お花見給食』を楽しみました。この6年生が中心となって、この桜の木が見守る中、「運動会」の『ファッション安木節』や「なべっこ」等の行事が無事にできることを願うばかりです。

教育専門監である栗津明子先生が、毎週木曜日に4～6年生の国語の勉強に入ってくれています。担任の先生と授業の組み立て方を相談したり、授業の中でアドバイスしてくれたりして、より楽しくて、力の付く国語の授業づくりを進めています。



社会科の時間は、政治の勉強です。菅総理や佐竹知事、老松市長さんも登場しています。教科書、資料集、辞書を使って、調べて考える社会科です。コロナのことや環境問題等、テレビで報道されていることの意味が、一気にわかり始めて、大人の階段をまた登っているようです。

理科の授業は、教務主任の伊藤範子先生が担当してくれています。この日は、淳美先生と二人で、白衣を着て、酸素測定器や実物投影机を使って、燃え尽きた後の「酸素量」を予想したり、実験をしたりする、本格的な授業をしました。実は、この1時間のために、二人で夜遅くまで授業の準備ががんばっていたんです。伊藤先生は、全学年の算数等の授業も担任の先生と一緒に授業してくれています。

6年生がリーダーの『たてわりそうじ』もスタート！！

今週から、1年生を加えた新しい「ひまわり班」でのそうじがはじまりました。1年生をさがすのが難しいくらい、自然に馴染んでいました。そして、ぞうきんの使い方やしぼり方もとっても上手でした。堀川先生に聞いたら、実は、事前に教室で特訓したのだそうです。そして、その1年生に6年生がやさしく寄り添っています。これで、学校の組織が完成！6年生の4月のがんばりに感謝、感謝です。

